

20年を記念し北上の未来に期待

平成23年度北上市市勢功労者表彰式・北上市市制施行20周年記念式典

市勢功労者表彰式は5日、ホテルシティプラザ北上を会場に執り行われました。受賞者である伊藤彬前北上市長、芳野宏一さん、小笠原祐二さん、故赤平道孝前北上市消防団長の4人に表彰状と記念の盾が贈られました。受賞者を代表し、伊藤前市長は「20周年の節目の年に受賞し、光栄。今後も市の更なる発展と震災復興など地域づくりに力を尽くしたい」と感謝の言葉を述べました。

表彰式のあと、新北上誕生から20年を祝う記念

（前列右から）伊藤前市長、芳野さん、小笠原さん、故赤平さんの妻・志津子さん



市民の歌とお祝いの歌を披露した黒沢尻北小学校合唱部のステージ

式典を開催。市外から北上市の進展に寄与した、関満博さんと松井利夫さんに産業振興功労、篠弘さんと佐藤四郎さんに教育文化功労として感謝状を贈呈しました。また、20年の歩みをまとめたビデオの上映、北上翔南高校鬼剣舞部の舞のほか、新成人の高橋大樹さん（和賀町岩崎）と武田恵梨子さん（同煤孫）による市民憲章の唱和が行われました。姉妹都市のコンコード市と柴田町、友好都市の三門峡市からもメッセージが寄せられ、参加者全員で今後の市の発展を祈念しました。

心新たに地域を守る 北上市消防出初式

平成24年北上市消防出初式は9日、さくらホールを主会場に行われました。式典で統監の高橋市長は、日ごろの活動に感謝し「地域とコミュニケーションを取り安全を守ってほしい」とあいさつ。また菅孝志団長は「昨年の自然災害から多くのことを学んだ。地域の皆さんと協力し、地域の事情にあった活動をしてほしい」と訓示を述べ、今年の活躍を期待していました。

式典終了後、分列行進が行われ、千人を超える消防団や婦人消防協力隊が、市内を行進しました。

さくらホールを出発し、新穀町内を進行する消防団員たち



菊池北上市社会福祉協議会会長から記念品を受ける新成人の皆さん

社会人としての一步を 福祉成人祝賀会を開催

北上市社会福祉協議会主催の福祉成人祝賀会は8日、ホテルシティプラザ北上で開かれました。

身体障害者手帳、療育手帳などを持つ市内の新成人15人とその家族、福祉関係者らが出席。菊池憲一会長は「社会人としていろいろなことを学び、目標に向かって進んでほしい」と激励しました。新成人を代表して、伊藤駿さんが「多くの人の温かい思いやりに支えられてきた」と感謝し、社会人として頑張ることを表明していました。

自治宝くじで地域に元気を

炭焼きで地域資源を有効活用

口内町自治協議会(昆野先男会長)は、地域の木材資源を活用するため12月13日、炭焼き窯に火入れを行いました。窯は宝くじの助成を受け導入したものです。地元産の炭作りをスタートさせました。

里山の土地柄を生かした炭焼きで、新たなまちおこしにつなげることがねらい。間伐材や雑木を使い、炭や木酢液を特産品とすることや、炭を使った環境整備にも役立てていくことを計画。地域の魅力を再確認し、市内外に発信しようとしています。

新しい炭焼き窯に火入れを行った住民の皆さん



新しい衣装を身に付け、横綱の土俵入りを披露する保存会の皆さん

山口女相撲の新衣装お披露目

山口自治会(小原房雄会長)は、民俗芸能の保存活動として、宝くじの助成により山口女相撲の衣装や小道具を取りそろえました。そのお披露目日は3日、山口新年交賀会で行われ、行司や力士の衣装をまとった会員が「横綱の土俵入り」「相撲甚句」などを演じました。

山口女相撲は昭和27年から踊り継がれてきましたが、一時中断。平成7年に復活し、現在は保存会(小原辻子代表)の会員20人が、ふるさとの誇りと幸せを願って活動しています。

百歳を迎えおめでとう

白畑ハツネさん(成田)

成田にお住まいのハツネさんが百歳を迎え12月29日、高橋市長が自宅を訪れ祝い状と記念品を手渡しました。ハツネさんは明治44年12月29日、花巻市の生まれ。昭和3年に故宇工門さんと結婚し、5人の子どもをもうけました。現在は孫11人、ひ孫5人、やしゃご4人に恵まれています。

小原剛 飯豊7区長と伊藤能夫子民生委員も駆け付け祝福。義娘の和子さんは長年在宅介護で支え「これからも2人で元気に過ごしたい」と話していました。

高橋市長から祝い状と記念品を受け、笑顔のハツネさん(右)



家族や親せきが駆け付け、入所者からも祝福を受けるカ子さん(前列中央)

齊藤カ子さん(岩崎)

特別養護老人ホームわがの里に入所しているカ子さんが百歳を迎え19日、同ホームで祝う会が開かれました。高橋市長が訪問し祝い状と記念品を贈りました。

カ子さんは明治45年1月19日生まれ。旧岩崎村の故嘉機さんと結婚しましたが子どもに恵まれず、養女を迎えました。現在は孫3人、ひ孫3人に恵まれています。子どもが大好きで、孫や近所の子どもたちをよくかわいがりました。また、目が不自由ながら縫い目をたどり、自分の着物をよく縫っていたそうです。